

# ビジュアルスノウ症候群（視界砂嵐症候群）の診断基準（翻訳）

・受診先の医師がビジュアルスノウ症候群（以下VSS）に関する知識が乏しい場合は、当Webサイト <https://www.visualsnowinitiative.org/> をご紹介ください。医療コミュニティ内での認知度向上に役立ちます。

・VSSの疑いがある患者さんは、当チェックシートを医師に見せてください。また念のため英語の原本もご印刷ください。

## 当診断基準の作成協力者

・ Victoria Susan Pelak, MD

コロラド大学神経眼科学教授

・ Owen White, MD PhD FRACP

モナシュ大学神経科学教授

・ Peter Goadsby, MD PhD

ロンドン大学キングス・カレッジ神経学教授

・ Yasser Khan, MD FRCS

眼形成、眼窩および眼科外科医

## 診断基準

### A. 視野全体でとても小さな点が切れ目なく見える 症状が3 か月以上持続している

### B. 次の4つの症状のうち少なくとも2つの視覚 的症狀がある

1. パリノプシア（両方とも、またはいずれか一方）
  - ・ 過度の残像（刺激が取り除かれた後に生じる持続的、反復的な視覚像）
  - ・ トレイリング（引きずられる像）
2. 強化された内視現象
  - ・ 過度の飛蚊症（両眼）
  - ・ ブルーフィールド内視現象
  - ・ 暗闇で目を閉じたときに知覚される色付きの波
  - ・ 光視症（明るい閃光）

### 視覚的な症状

- ・ 視野全体に雪のような点が見える（砂嵐）
- ・ 小さな浮遊物が見える（飛蚊症）
- ・ 点滅する光が見える（光視症）
- ・ 光に過敏である（羞明）
- ・ 視野から離れた後も像を見続ける（パリノプシア）
- ・ 視界内で像を見る（内視現象）
- ・ スターバースト、ハロー、複視などの視覚症状がある

### 3. 羞明

光に対する過敏性または不耐性。これにより、日光やコンピュータ、蛍光灯、車のヘッドライトなどを避ける人もいます

### 4. 夜盲症（夜間視力障害）

### C. 閃輝暗点を伴わない片頭痛がある

### D. 症状は別の病気ではうまく説明できない

### 非視覚的な症状

- ・ 「ジー」「キーン」といった雑音がある（耳鳴り）
- ・ 疎外感がある（離人症）
- ・ 不安障害またはうつ病の症状がある
- ・ 頻繁な片頭痛、ブレインフォグ、錯乱がある
- ・ めまいと吐き気がある
- ・ 不眠症およびその他の睡眠関連の問題がある
- ・ 全身の痛みを伴い、足と腕のうずく感覚がある

## 注意書き

Visual Snow InitiativeのWebサイトは情報提供のみを目的としています。掲載内容は医学的なアドバイスではありません。また専門的な医学的アドバイス、診断、治療の代わりになるものではありません。病状に関する質問は、必ず医師またはその他の資格を有する医療従事者の助言を受けてください。本サイトで読んだ内容を理由に、専門家のアドバイスを無視することがないようにしてください。サイト内で言及されている特定の検査、医師、製品、手順、意見、またはその他の情報を推奨または保証するものではありません。本サイトが提供する情報への依存は、あくまでもご自身の責任において行われるものとします。

翻訳元：Diagnostic Criteria | Visual Snow Initiative (<https://www.visualsnowinitiative.org/diagnostic-criteria/>)

翻訳者：ビジュアルスノウ症候群広報 (<https://www.visualsnow-japan.com/>)